

OMNI 50+



JP/

取扱説明書

harman/kardon[®]
by HARMAN



安全指示

■ 使用前に配線の電圧をご確認ください

Omni 50+は100～240V、50/60HzのAC電流で使用するよう設計されています。本製品向け以外の線間電圧への接続は安全上の問題および火災の原因となり、ユニットに損傷を与える可能性があります。お持ちの製品の対応電圧、またはお住まいの地域の線間電圧についてご質問がございましたら、壁のコンセントに接続する前に販売店にご相談ください。

■ 延長コードは使用しないでください

安全上の問題を避けるため、本製品に付属した電源コードのみを使用してください。本製品に延長コードを使用することはお勧めしません。電源コードをじゅうたんまたはカーペットの下に通したり、上に重いものを置かないでください。破損した電源コードは、使用せずにただちに適正な仕様の新しい電源コードに交換してください。

■ AC電源コードは丁寧に扱ってください

ACコンセントから電源コードを外す時は、常にプラグを引っ張ってください。決してコードを引っ張らないでください。また長期間スピーカーを使用する予定がない場合、ACコンセントからプラグを外してください。

■ 本体キャビネットを開けない

本製品内にはお客様自身で修理、交換可能な部品はございません。キャビネットを開けると感電する可能性があり、本製品へいかなる改造を行った場合、お持ちの保証書は無効になります。水などの液体が誤ってユニット内に入った場合、ただちにAC電源から本体を取り外し、サービスセンターにご相談ください。

目次

安全指示	2
はじめに	5
開梱	6
ボタンとコネクタ	7
リンクボタン	9
ソースボタン	9
再生/一時停止ボタン	9
音量+/-ボタン	9
バッテリー レベル インジケーター	10
電源ボタン	10
WPSボタン	10
リセットボタン	10
AC電源コネクタ	10
オーディオ入力コネクタ	10
USBコネクタ	10
スピーカーのセットアップ	11
スピーカーをWi-Fiに接続	11
iOS	12
Android	13
WPS(Wi-Fiプロテクト設定)	13
ステレオペアのセットアップ	14
スピーカーをBluetoothに接続	15
AUX入力デバイスの接続	15
屋外での使用	16
スピーカーのコントロール	17
スピーカー、部屋、グループ	17
音量とミュート	18
ソースの切り替え	18
Wi-Fiを通して音楽を再生	19
Harman Kardon Controller アプリ	19
Spotify接続	20
Chromecast built-in	20
アップグレード	21
トラブルシューティング	23
オープン・ソース宣言	25
技術的仕様	26

harman / kardon[®]
by **HARMAN**



はじめに

HarmanKardonワイヤレスHDミュージックシステムをご購入いただき、ありがとうございます! Harmanはお客様にオーディオ体験をしていただき、その体験を向上させる新しいテクノロジーを駆使するリーダーとなってきました。これは、本製品ラインナップでも当社が保ち続けている伝統です。当社は、オーディオクオリティに一切妥協することなく、より良い、そしてより使いやすいオーディオ体験を生み出すため、ホームワイヤレスネットワークのと多様な可能性を提案するシステムを作り上げました。新しいHarmanKardonワイヤレスHDミュージックシステム製品をお楽しみいただき、お客様の家中に当社のソリューションの拡張いただければと思っております。

ホームワイヤレスネットワークのご使用により、従来のBluetooth®接続よりもはるかに広い範囲での使用をお楽しみいただけます。

また、家中でいろいろな組み合わせで製品を使用し、本製品もしくは、Harman Kardon Controllerアプリのどちらかから操作が可能です。

製品を最大限にお楽しみいただくために、この説明書をお読みください。

この製品の設置または操作について何かご質問がありましたら、HarmanKardon小売店、設置業者、または弊社のウェブサイト、www.harmankardon.com/wirelessにご連絡ください。

開梱

同梱品
Omni 50+



x 1



x 1 : 1.8 m



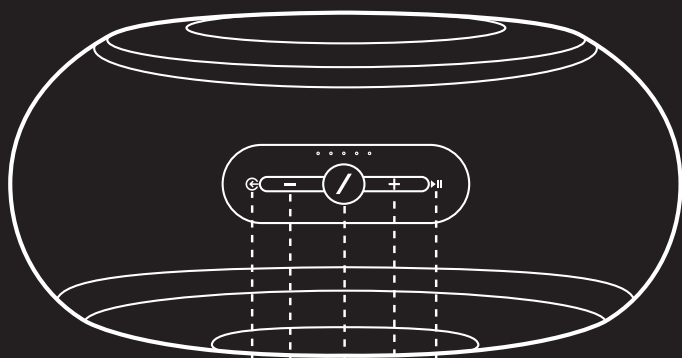
x 1 : 1.6 m



開梱

ボタンとコネクタ

Omni 50+ ボタン



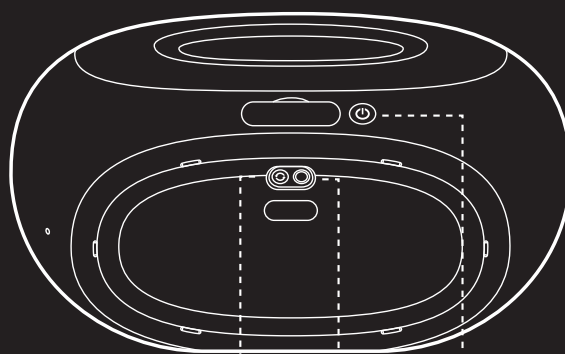
ソース・セ
レクター

音量-

リンク

音量+

再生/一時
停止



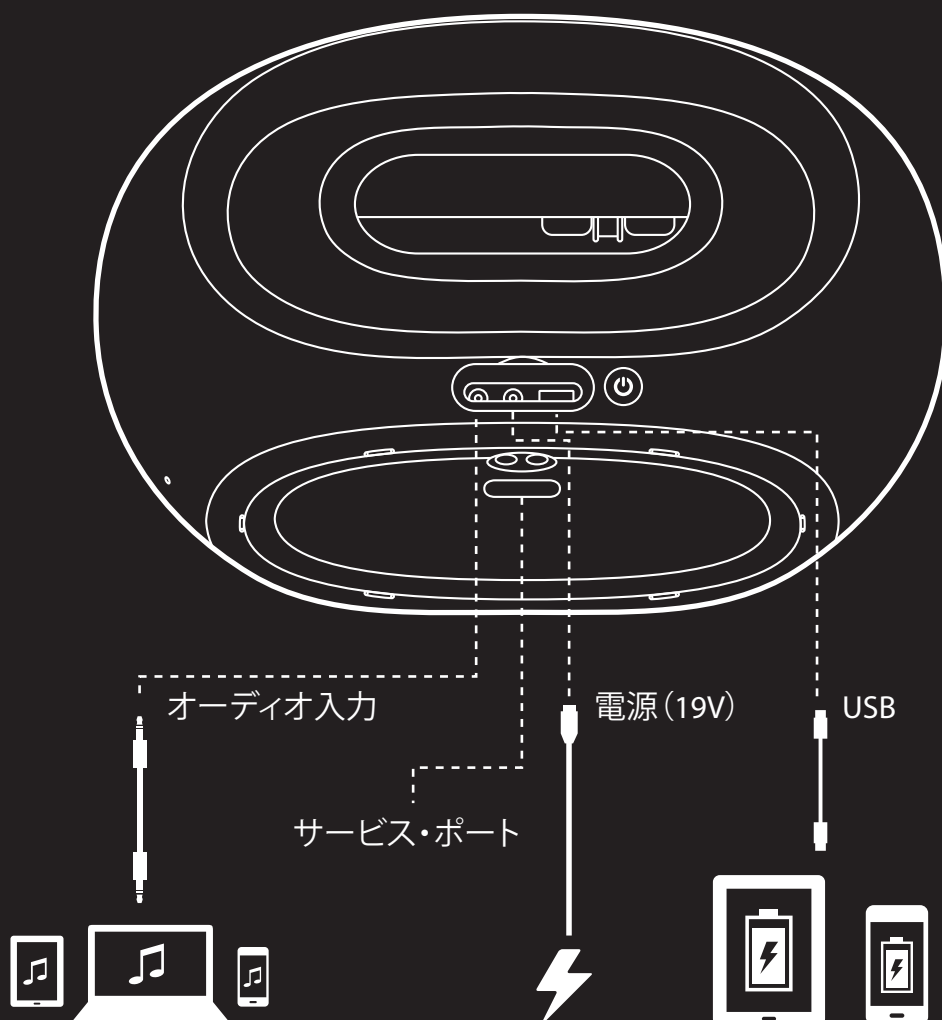
WPS
(Wi-Fiプロテ
クト設定)

リセット

電源オン/
オフ

ボタンとコネクタ

Omni 50+
コネクタ



ボタンとコネクタ

｜ リンクボタン ①

リンクボタンを押すと、このスピーカーが別のスピーカーグループに追加されます。グループ化されたスピーカーはすべて同じ音楽を再生します。たとえば、ベッドルームで音楽を聴いている場合、キッチンに移動し、キッチンのスピーカーのリンクボタンを押すことができます。キッチンのスピーカーはグループにつながって、ベッドルームと同じ音楽を再生し始めます。複数回押すと、ネットワーク上の別のグループに切り替わります。

リンクボタンを5秒間長押しすれば、パーティーモードにでき、家のすべてのスピーカーに同じ音楽を送ることができます。

｜ ソースボタン ②

ソースボタンを押すと、この部屋の現在アクティブな音楽ソースとしてAUX入力またはBluetoothが順に選択されます。Wi-Fi経由でオーディオをストリーミングしている場合、Wi-FiからBluetoothまたはAUX入力ソースに切り替わります。これらのソースのいずれかに切り替えると、このスピーカーで聞いているのと同じ音楽が、同じグループの他のすべてのスピーカーに送信されます。

｜ 再生/一時停止ボタン ▶||

再生/一時停止ボタンを押すと、Spotify Connect(スポティファイ・コネクト)およびChromecast built-inなどのBluetoothまたはWi-Fiソースの音楽再生を一時停止、または再開できます。AUX入力オーディオは、外部オーディオソースから一時停止する必要があります。

｜ 音量+/-ボタン

音量+ボタンを押して音量を増加させ、音量-ボタンを押して音量を減少させてください。スピーカーをミュート状態にするためには、「-」と「+」ボタンを同時に押してください。

｜ バッテリー レベル インジケーター

Omni 50+スピーカーの上部には、現在のバッテリー・レベルを示す5つのLEDがあります。5個のLEDが全て点灯していることはバッテリーが完全に充電されていることを示します。LEDが点滅していることはバッテリーが現在充電中であることを示します。

｜ 電源ボタン

このボタンはOmni 50+の電源をオンまたはオフにします。Omni 50+がAC電源に接続されている時、10分間操作しないと自動的にスタンバイ・モードに入ります。完全に電源を切るには、電源ボタンを押してください。電源をオフにすると、Wi-FiとBluetoothは動作しません。また、電源を再びオンにするまで、スピーカーがHarman Kardon Controller アプリに表示されません。

AC電源が切断され、Omni 50+がバッテリー・モードになっている場合、10分間操作しないとスタンバイ・モードになります。30分間操作しないと、自動的に電源がオフになります。

｜ WPSボタン

このボタンは、スピーカーをホームWi-Fiネットワークに接続するために使用します。このボタンを押すと、WPS PBCモードに入ります。このボタンを5秒間押すと、WPS PINモードに入ります。その他の情報については、15ページのWPSセクションをご覧ください。

｜ リセットボタン

リセットボタンを5秒間押すと、工場出荷時の設定にリセットされます。これにより、すべてのユーザー設定が消去され、Wi-Fiネットワークとの接続が切られ、スピーカーがWi-Fiセットアップ・モードに入り、別のWi-Fiネットワークに接続できます。

｜ AC電源コネクタ

付属の電源または電源コードを使用して、スピーカーをAC電源に接続してください。

｜ オーディオ入力コネクタ

3.5mmまたは1/8インチのステレオAUXケーブルを介してアナログオーディオソースをこのコネクタに接続して、アナログオーディオデバイスからのオーディオを楽しんでください。

｜ USBコネクタ

このコネクタにスマートフォンを接続して、Omni 50+内蔵バッテリーからスマートフォンを充電します。

スピーカーのセットアップ

このセクションでは、Omni 50+スピーカーをセットアップしてWi-Fiに接続し、使用しようとする各ソース・デバイスを接続します。

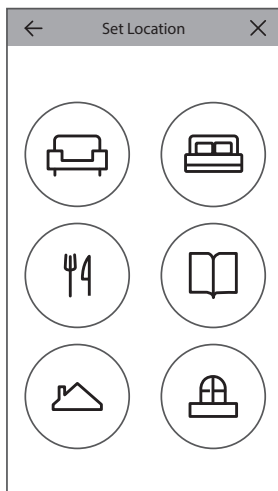
開始する前に、iOSまたはAndroid用のHarman Kardon Controller アプリをダウンロードしてください。このアプリは、iOSアプリ・ストアとGoogleプレイ・ストアの両方でダウンロードできます。このアプリを使用してスピーカーをセットアップおよび構成します。

ビデオで学ぶことを好むなら、Harman Kardonのセットアップ・ビデオが役立ちます。下のQRコードをスキャンして、ウェブ上のビデオをご覧ください。

セットアップ・ビデオ



スピーカーをWi-Fiに接続



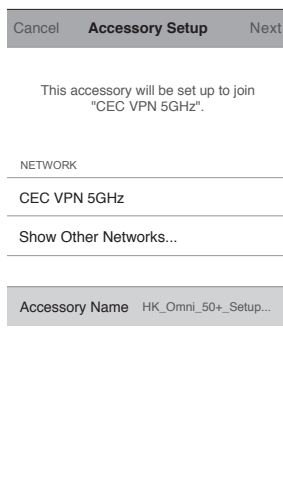
Harman Kardon Controllerアプリを初めて開く場合は、まずチュートリアルから基本的な操作を行い、次に「新しいスピーカーのセットアップ」ボタンが表示されます。このボタンを押すと、セットアッププロセスが開始されます。これについては、本マニュアルでも説明します。

1. 続ける前に、セットアップする部屋を選択してください。この部屋で1つのOmni+スピーカーを使用するか、または2つのOmni+スピーカーをワイヤレスステレオペアで使用するかを決めます。ワイヤレスステレオペアをセットアップする場合は、両方のスピーカーがOmni 50+である必要があります。スピーカーを自宅のルーターまたはアクセスポイントのWi-Fi範囲内で、目的の聴取場所に配置します。ステレオスピーカーの適切な配置の詳細については、16ページの「ステレオペアのセットアップ」セクションを参照してください。この部屋にセットアップする1つまたは2つのスピーカーのみをAC電源に接続してから、次に進みます。

2. スピーカーセットアッププロセスの次のステップは、このスピーカーの使用場所を選択することです。リビングルームやベッドルームのような、事前に設定された部屋のうち1つを選択します。ここに表示されている部屋名と異なる部屋名を使用したい場合は、次の手順でカスタマイズすることができます。この部屋に関連付けたいアイコンを選択してください。
3. 部屋名を選択した後、部屋を特定の色でカスタマイズすることができます。12種類の色を選択できます。アプリを使用している間にこの色は常にこの部屋に関連付けられ、部屋を区別しやすくなります。部屋名をタップして新しい部屋名を入力することで、部屋の名前を変更することもできます。
4. 次に、この部屋で使用したいOmni+スピーカーの数を選択します。1つのOmni 50+スピーカーを使用するか、または2つのスピーカーをワイヤレス・ステレオ・ペアで使用することができます。ステレオペアで使用する場合は、自動的に左のスピーカーがオーディオの左チャンネルを、右のスピーカーがオーディオの右チャンネルを再生します。

その後、スピーカーをホームネットワークに接続します。このプロセスはAndroidとiOSで異なります。

iOS



Omni 50+は、Wireless Accessory Configurationという新しいiOS機能を使用します。この機能を使用すると、iOSユーザーのWi-Fiを最も簡単にセットアップできます。この画面には、AC電源に接続した各スピーカーが表示されます。いずれかのスピーカーを選択すると、iOSシステムのポップアップ画面が表示され、範囲内のWi-Fiネットワークのリストが表示されます。このスピーカーを接続するWi-Fiネットワークを選択し、「次へ」を押します。このネットワークは、通常、スマートフォンが接続されているネットワークと同じである必要があります。スマートフォンが接続されているネットワークはデフォルトのオプションとして表示されます。

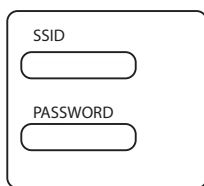
注：正しいWi-Fiネットワークが見つからない場合は、スピーカーがWi-Fiルーターまたはアクセスポイントの範囲内にあるか確認してください。

以前にiPhoneまたはiPadがこのWi-Fiネットワークに接続したことがない場合は、Wi-Fiパスワードを入力して接続する必要があります。ほとんどのユーザーはこのパスワードを入力する必要はありません。

スピーカーは自動的に再起動し、Wi-Fiネットワークに接続します。ポップアップ画面の右上にある「完了」を押して続行します。

この部屋で1つのOmni 50+のみを使用している場合、これで部屋のセットアップは完了です。同じプロセスで追加の部屋をセットアップしたり、音楽のストリーミングを開始したりすることができます。ステレオ・ペアをセットアップする場合は、コントローラー・アプリからこのプロセスをもう一度行い、14ページの「ステレオ・ペアのセットアップ」に進みます。

Android



AC電源に接続した各Omni 50+スピーカーが画面に表示されます。いずれかのスピーカーを選択すると、使用可能なWi-Fiネットワークのリストが表示されます。Omni+スピーカーを接続するWi-Fiネットワークを選択し、Wi-Fiパスワードを入力します。すべてのOmni+スピーカーは再起動し、このWi-Fiネットワークに接続します。

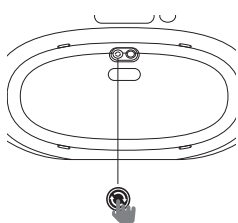
注:正しいWi-Fiネットワークが見つからない場合は、スピーカーがWi-Fiルーターまたはアクセスポイントの範囲内にあるか確認してください。

この部屋で1つのOmni 50+のみを使用している場合、これで部屋のセットアップは完了です。同じプロセスで追加の部屋をセットアップしたり、音楽のストリーミングを開始したりすることができます。ステレオ・ペアをセットアップする場合は、14ページの「ステレオ・ペアのセットアップ」に進みます。

WPS(Wi-Fiプロテクト設定)

WPSはホームネットワークにシステムを接続する簡単な方法です。ご使用のルーターがWPSを備えているか確認するには、ルーターのWPSロゴまたはWPSの文字を探してください。Omni 50+は、WPS-PBCおよびWPS-PINモードに対応しています。

WPS-PBC



WPS-PBCモードでスピーカーを接続するには:

1. Wi-FiルーターまたはアクセスポイントのWPSボタンを押します。
2. 1分以内にOmni 50+の底部にあるWPSボタンを押します。
3. スピーカーの上部にあるリンクボタンが最高一分間、素早く点滅します。LEDが点滅を止めて白く点灯すると、スピーカーが接続されます。

注:これにより、スピーカーがホームネットワークに接続されます。スピーカーがホームネットワークに接続されたら、Harman Kardon Controller アプリを開き、このスピーカーの新しい部屋をセットアップする必要があります。

WPS-PIN

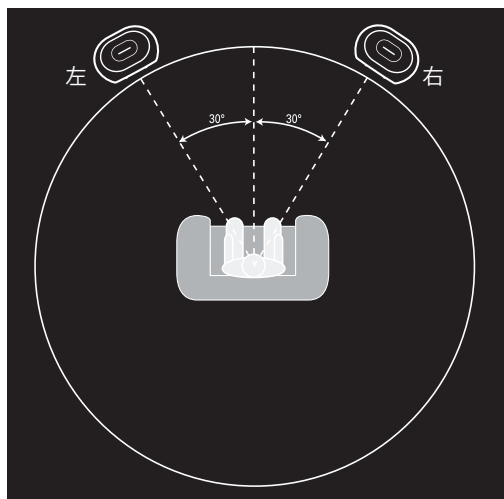
WPS-PINモードでスピーカーを接続するには:

1. ウェブブラウザを使ってWi-Fiルーターまたはアクセスポイントのセットアップページをご覧ください。
2. Omni 50+の底部にあるWPSボタンを5秒間押します。
3. ルーターまたはアクセス・ポイントのセットアップ・ページのWPS-PINセクションに87654325と入力してください。

4. スピーカーの上部にあるリンクボタンが最高一分間、素早く点滅します。LEDが点滅を止めて白く点灯すると、スピーカーが接続されます。

注：これにより、スピーカーがホームネットワークに接続されます。スピーカがホームネットワークに接続されたら、Harman Kardon Controllerアプリを開き、このスピーカーの新しい部屋をセットアップする必要があります。

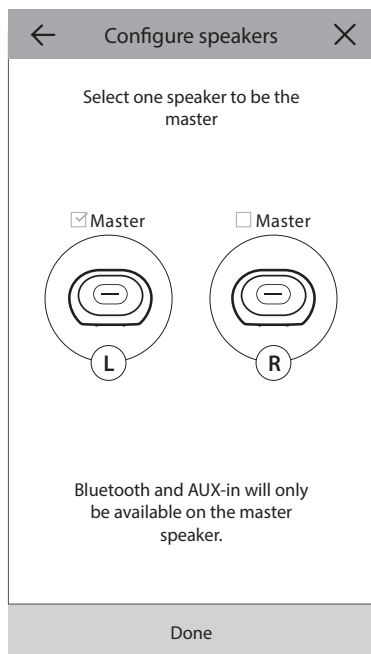
ステレオペアのセットアップ



ステレオペアをセットアップするときは、スピーカーの配置が重要です。中央にリスニングポジションを取って、半円状に2基のスピーカーを設置してください。リスニングポジションに正対するように各スピーカーを置いてください。スピーカーを同じ高さに設置してください。リスナーの耳と同じ高さが望ましいです。

スピーカーを設置しWi-Fiに接続した後（13ページの「スピーカーをWi-Fiに接続」を参照）、Harman Kardon Controllerアプリから左右チャンネルの割り当てを行います。画面の下部に、ネットワーク上の利用可能なすべてのスピーカーが表示されます。スピーカーの1つを左スピーカーの領域にドラッグすると、そのスピーカーの上

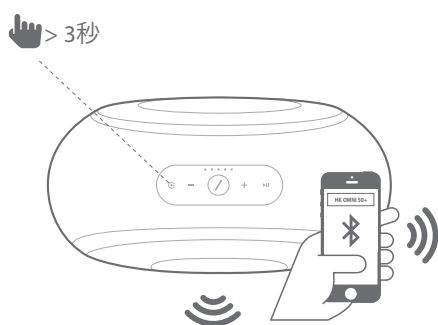
部にあるLEDが白く点滅し、選択したスピーカーを識別するオーディオトーンが聞こえます。このスピーカーがステレオペアの左の位置に配置したいスピーカーであることを確認してから、右のスピーカーに対して同じ手順を繰り返します。



最後のステップは、ペアのスピーカーの1つをマスタースピーカーとして割り当てることです。AUX入力デバイスをこのマスタースピーカーに接続する必要があります。このスピーカーはBluetoothとのみペアリングすることができます。もう一方のスピーカーは自動的にスタンバイモードになり、音楽ストリーミングが停止するとすぐに電力を節約します。

既存のシングルスピーカールームをステレオペアにアップグレードすることもできます。「設定」>「部屋の管理」に移動し、スピーカーを追加する部屋を選択します。「スピーカーの追加」を選択すると、上述のセットアッププロセスと同じプロセスを通じてネットワーク上の他のスピーカーをこの部屋に割り当てることができます。

■ スピーカーをBluetoothに接続 ✪



Omni 50+にはBluetoothが搭載されており、スマートフォンやタブレットのアプリからでもオーディオをストリーミングすることができます。スマートフォンまたはタブレットをOmni 50+スピーカーとペアリングするには、スピーカーの電源が完全にオンになっていることを確認してから、スピーカー上部のソース・ボタンを5秒間押します。ステレオペアとして使用する場合は、マスタースピーカーのソースボタンを押します。スピーカー上部のリンクボタンが青く点滅し始めます。スマートフォンまたはタブレットのBluetooth設定メニューでOmni 50+を探し、ペアリングするスピーカーを選択します。

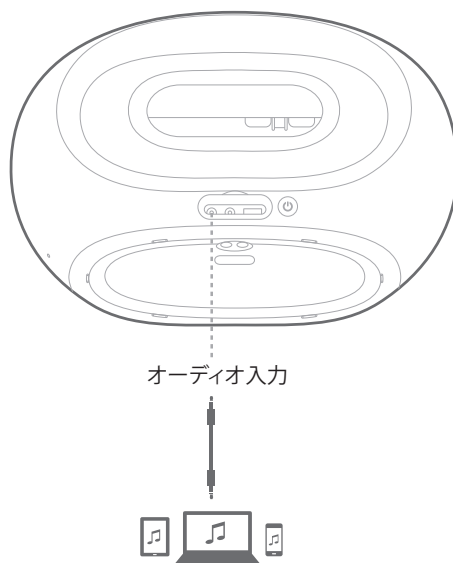
ペアリングが完了すると、スマートフォンやタブレットのすべてのオーディオがスピーカーと、同じグループの他のすべてのスピーカーに無線でストリーミングされます。ステレオオーディオは、ワイヤレスステレオペアの左右の該当するチャンネルに自動的に送信されます。Controller アプリから部屋をグループ化するか、リンクボタンを押して、家中にオーディオを送信することができます。

Bluetooth経由でストリーミングしたいスピーカーとは1回だけペアリングするだけでよいです。ペアリングしたことがある場合は、スマートフォンまたはタブレットのBluetooth設定メニューで再接続するスピーカーを選択するだけで済みます。

Bluetoothオーディオをストリーミングする時は、リンクボタンのLEDが青色に変わります。

多くのスマートフォンやタブレットを使用する場合は、スピーカーの音量を変更すると、スマートフォンやタブレットの音量も変わります。Bluetooth経由で音楽を再生しているときに音楽が聞こえない、または音量が非常に低い場合は、スマートフォンとスピーカーの両方で音量を上げてみてください。

■ AUX入力デバイスの接続



Omni 50+の背面にはアナログソースの音楽再生のためのオーディオ入力コネクタがあります。3.5mmステレオケーブル（別売）をスピーカーのオーディオ入力コネクタに接続し、ケーブルのもう一方の端をオーディオソースデバイスに接続します。オーディオ入力コネクタでオーディオを再生すると、スピーカーは自動的にAUX入力ソースに切り替わり、オーディオは同じグループ内の他のすべてのスピーカーに自動的に送信されます。ステレオオーディオは、ワイヤレスステレオペアの左右の該当するチャンネルに自動的に送信されます。Harman Kardon Controller アプリから部屋をグループ化するか、リンクボタンを押して、家のあちこちにオーディオを送信することができます。ワイヤレスステレオペアルーム構成では、外部ソースをマスタースピーカーに接続する必要があります。

注：オーディオ入力コネクタでオーディオを再生すると、スピーカーが自動的にスタンバイモードから起動します。スピーカーがスタンバイモードに入らない場合は、外部オーディオソースがオフになっているか確認してください。またオーディオ入力コネクタからのオーディオは、他のソースよりも優先されます。BluetoothまたはWi-Fiからの音楽再生を開始する時は、オーディオ入力ソースを停止または一時停止してください。

AUX入力オーディオを再生すると、リンクボタンのLEDが緑色に変わります。

■ 屋外での使用

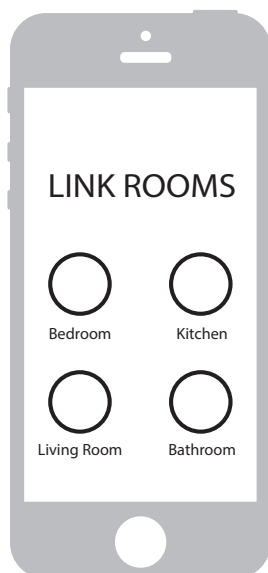
Omni 50+は、家でも屋外でも使用できるように設計されたIPX5全天候型スピーカーです。5時間使用できる内蔵バッテリーによって、お庭などでも音楽を再生することができます。スピーカーの上部には、簡単に持ち運べるようにする便利なハンドルがあります。IPX5の全天候型設計により、雨天でも使用できます。

スピーカーのコントロール

Ⅰ スピーカー、部屋、グループ



Harman KardonワイヤレスHDミュージックシステムの特徴の一つは、家の中の任意の数の異なる部屋にオーディオを送信できる機能です。これは部屋とグループを通じて実現できます。



部屋には、1つもしくは複数のスピーカーがあり常に同じ音楽を再生します。部屋には、リビングルームやベッドルームのような特定の部屋名、特定の色やアイコンがあります。部屋は音楽をストリーミング再生する場所としてHarman Kardon Controller アプリに上に表示され、Controller アプリの「設定」>「部屋の管理」に移動して、スピーカーの数などを編集できます。スピーカーのグループは常に同じオーディオコンテンツを再生するグループと考えることができます。複数のスピーカーを備えた部屋には、マスタースピーカーが存在し、ボタンでのコントロールや外部入力との接続に使用することができます。

グループには、同じオーディオコンテンツを再生する2つ以上の部屋があります。グループの名前は、グループ内部の部屋から形成されます。例えば、キッチンとラウンジで同じ音楽を再生するためにキッチンをラウンジに追加すると、ラウンジ+1という名前になります。リビングルームを追加すると、名前がラウンジ+2に変更されます。グループは、各スピーカーの上部にあるリンクボタンを使用するか、アプリのミュージックプレーヤーページの「リンクルーム」ボタンを押して作成します。グループは、同じオーディオコンテンツを再生しているが、部屋から部屋へと歩き回ったり、さまざまな場所で異なる音楽を再生したりするときに簡単に変更できる、一時的なスピーカーグループと考えることができます。グループにはマスタールームがなく、任意の部屋で新しい音楽を再生し始めると、その音楽が優先され、グループ内の他のすべての部屋も同じオーディオを再生し始めます。

音量とミュート



Omni 50+スピーカーの音量をコントロールするのは簡単です。スピーカー上部の音量+ボタンを押して音量を上げるか、音量-ボタンを押して音量を下げます。両方の音量ボタンを同時に押すと、スピーカーがミュートされます。スピーカーがミュートされている場合、音量を変更すると自動的にミュートが解除されます。

Controller アプリで音量をコントロールすることもできます。Controller アプリからスピーカーに音楽をストリーミングしているときは、スマートフォンやタブレットのハードウェア音量ボタンを使用してスピーカーの音量を調節できます。Controller アプリの音楽プレーヤーページにあるボリュームバーを使用して、現在のグループ内のすべてのスピーカーの音量を一度に調節することもできます。ボリュームバーの右側にあるアイコンを押すと、グループ内の個々の部屋をコントロールできるより詳細な音量コントロールパネルが開かれます。

ソースの切り替え

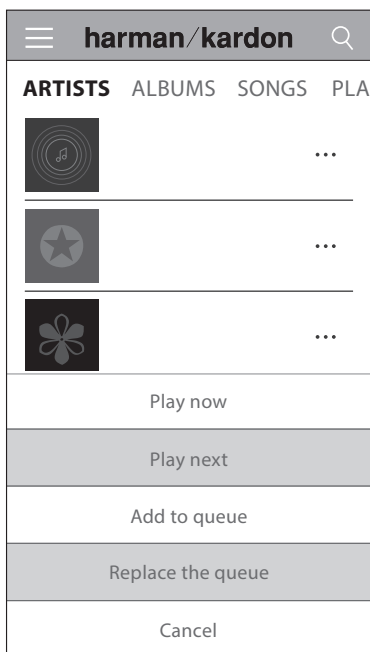


Omni 50+スピーカーは、さまざまなソースのオーディオを再生できます。これは好きな音楽を再生できるようにする。Chromecast built-inは多くの異なる音楽アプリおよびサービスに対応しています(詳細については20ページの *Chromecast Built-In* をご覧ください)。Spotify Premium アカウントをお持ちの場合、お気に入りの曲、プレイリスト、およびステーションを直接スピーカーで再生できます。Harman Kardon Controller アプリは、さまざまな音楽サービスと直接統合されているほかに、スマートフォンやタブレットに保存されている音楽も再生できます。BluetoothとAUX入力を使用すると、既に使用しているアプリやアナログオーディオデバイスの音楽を再生することができます。

これらのソースのいずれかのオーディオを再生し始めると、スピーカーは自動的にそのソースに切り替わり、前に再生していたオーディオコンテンツの再生を停止します。しかし、アクティブなソースを微調整したい場合は、ソースボタンを押して、それぞれのソースを順に切り替えます。

WI-FIを通して音楽を再生

Harman Kardon Controller アプリ



Controller アプリの利用は、無線でスピーカーで音楽を再生できる簡単な方法です。スピーカーをセットアップするとすぐにローカル音楽プレーヤー画面が表示されます。スマートフォンやタブレットのすべての音楽を、プレイリスト、曲、アーティスト、アルバム、ジャンル別に並べ替えて表示できます。この画面上の任意の項目を押してドラッグします。任意の部屋またはグループにドロップするとすぐにストリーミングが開始されます。

曲名をタップすると、アクティブな部屋またはグループでその曲が直接再生され、曲名の右側にある…アイコンを選択すると、追加の再生オプションが表示されます。次のオプションがあります。

- 今すぐ再生：現在のトラック（存在する場合）の再生を停止し、すぐにこのトラックを再生します。現在のアルバムまたはプレイリストの他のトラックも追加され、このトラックの後に再生されます。
- 次の曲を再生：現在のトラックの再生を終了して、このトラックに切り替えます。現在のアルバムまたはプレイリストの他のトラックもこのトラックの後に追加されます。
- キューに曲を追加：このトラックと現在のアルバムまたはプレイリストの他のすべてのトラックを再生キューの末尾に追加します。
- リストの置き換え：再生キュー内のすべてのトラックを削除し、このトラックを再生します。現在のアルバムまたはプレイリストの他のトラックが追加され、このトラックの後に再生されます。

音楽再生ページでキューアイコンを選択すると、再生キューを手動で編集できます。トラックを上下にドラッグして並べ替えたり、左右にスワイプして削除したりできます。

音楽再生ページで追加の再生オプションボタンを選択して、シャッフルモードとリピートモードを設定します。シャッフルは、ランダムに再生キューを整理し、各曲をランダムに1回再生します。「1曲を繰り返す」は現在のトラックを何度も繰り返す、「すべての曲を繰り返す」は最後のトラックの再生が終了すると自動的に再生キューの最初のトラックから始めます。

画面の左上にあるアイコンをタップすると、サイドバーが開かれ、追加のオプションが表示されます。ここでは、Controller アプリに統合されているさまざまな音楽サービスを確認したり、設定メニ

ューに入ります。これらの音楽サービスのいずれかを選択すると、ログイン画面が表示されます。音楽サービスのアカウント名とパスワードでログインすると、アプリの音楽コンテンツがその音楽サービスのコンテンツに変更されます。

使用しない音楽サービスがある場合は、「設定」>「音楽サービス管理」に移動して、サイドバーに表示されるリストを編集できます。リストからサービスを削除したり、順序を変更したり、以前に削除したサービスを追加することができます。

Spotify接続



このデバイスを使用してSpotifyに接続

Spotifyでは、好きなアーティスト、最新のヒット曲、検索曲など、何百万もの曲を聴くことができます。

Spotify Premiumユーザーは、Spotifyアプリを使用してこのデバイスをコントロールできます。

ステップ1. Spotifyアプリを実行しているスマートフォン、タブレット、またはPCと同じWi-Fiネットワークにデバイスを接続します。

ステップ2. Spotifyアプリを開き、任意の曲を再生します。

ステップ3. 画面の左下にある曲のイメージをタップします。

ステップ4. 接続アイコンをタップします。🔊

ステップ5. リストから[デバイス]を選択します。

Spotify接続の設定および使用方法については、www.spotify.com/connectをご覧ください。

ライセンス

Spotifyソフトウェアを使用するには、次のURLに記載されているサードパーティライセンスが必要です。

www.spotify.com/connect/third-party-licenses。

Chromecast built-in



Chromecast built-inは多数の増加し続ける音楽アプリやサービスに対応していることを除けば、Spotify Connect(スポティファイ・コネクト)と非常に近い機能を持っています。お使いの音楽アプリがChromecast built-inに対応している場合、そのアプリにキャストボタンが表示されます。

ステップ1. Chromecast built-in対応のアプリが入ったデバイスと同一のWi-Fiネットワークに、お持ちのデバイスを接続してください。

ステップ2. アプリを開き、曲を再生します。

ステップ3. キャスト・アイコンをタップします。📶

ステップ4. Omni+スピーカーを選択します。

スピーカーは音楽をインターネットから直接再生を開始します。お気に入りの音楽アプリを使用して、音楽やその他のオーディオコンテンツを再生したりコントロールします。

Chromecast built-inの使用法の詳細については、<https://www.google.com/cast/learn/audio>を、対応するアプリを探すには<https://www.google.com/cast/apps>をご参照ください。

アップグレード

Harman Kardon は、追加機能を追加してパフォーマンスを向上させるために、HarmanKardonワイヤレスHDミュージックシステムのファームウェアおよび Controller アプリのアップグレード版を定期的にリリースします。ほとんどの場合、これらのアップグレードは自動的に行われます。

スピーカーファームウェアのアップデートは、深夜に行われ、スピーカーを使用中の場合は自動的に遅延されます。Omni 50+スピーカーは、これらのファームウェアのアップグレードを自動的にダウンロードしてインストールし、ユーザーの入力を必要としません。

アプリのアップデートは、iOSアプリストアとGoogleプレイストアに表示されます。タブレットやスマートフォンの他のアプリと同様に、Harman Kardon Controller アプリを更新できます。自動アプリアップデートがオンになっていない場合は、アプリストアまたはGoogleプレイストアを随時チェックして、利用可能なアップデートがあるかどうかを確認してください。

■ 設定

Harman Kardon Controller アプリ画面の左側のサイドバーの下部に「設定」メニューがあります。システムを最適化するための追加情報とオプションがあります。

■ 音楽サービス

ここでは、内蔵の音楽サービスのレイアウトを最適化することができます。最も一般的に使用されている音楽サービスを上にドラッグするか、未使用のサービスを完全に削除します。ここで行った変更は、使用しているサービスにすばやく簡単にアクセスできるように、アプリのメイン画面の音楽サービスメニューに反映されます。

■ 新しいスピーカーのセットアップ

新しいOmni+スピーカーを購入し、自宅に追加したい場合や、既存のOmni+スピーカーのいずれかをリセットする必要がある場合は、このオプションを選択します。もう一度初期の部屋セットアッププロセスを行います。

■ 部屋の管理

ここでは、システムの各部屋をカスタマイズするための詳細オプションがあります。部屋名を編集し、部屋アイコンや関連色を変更することができます。部屋に単一Omni+スピーカーがある場合は、追加のスピーカーを追加してワイヤレスステレオペアを作成するか、またはステレオペアでマスターとなるスピーカーを変更することができます。部屋を完全に削除することもできますが、スピーカーを使用するために、再度スピーカーをセットアップする必要があります。

■ チュートリアル

このオプションを選択すると、Harman Kardon Controller アプリの各部分の使用方法を学べるアプリ内チュートリアルが再び表示されます。

■ 製品情報

このメニューには、インストールされているHarman Kardon Controller アプリの現在のバージョンと、ネットワーク上の各スピーカーのファームウェアバージョンが表示されます。追加のヘルプのためにカスタマーサービスに連絡する時にこの情報が必要な場合があります。

また弊社のソフトウェアパートナーおよびサービス利用規約に関する情報もご覧いただけます。

■ 詳細コントロール

場合によっては、スマートフォンの他のアプリでの操作がOmni 50+の音量レベルに影響を与えることがあります。この問題が発生した場合は、詳細コントロールメニューに入り、「ハードウェア・ボリュームを無効にする」オプションをオンにします。これにより、スマートフォンの物理的音量ボタンを使用してスピーカーの音量を調節できなくなりますが、問題を解決できます。

■ よくある質問

「よくある質問」を選択すると、スマートフォンやタブレットのインターネットブラウザが開かれ、Harman Kardon のウェブサイトのFAQセクションに移動し、追加のサポートと情報を得ることができます。

■ フィードバックを送信

ご意見やご質問がありましたら、このオプションを選択して直接カスタマーサポートにご連絡ください。ご連絡の後すぐに返信を受け取ります。

トラブルシューティング



問題	解決方法
スピーカーの電源が入らない	スピーカーが正しくAC電源コンセントに接続されていることを確認します。
スピーカーがコントローラー・アプリに表示されない	スピーカーがWi-Fiネットワークに接続されており、Wi-Fiの範囲内にあるか確認します。またスマートフォンやタブレットとスピーカーが同一のネットワーク内に接続されているか確認します。
スピーカーから音が聞こえない	スピーカーの音量を上げるか、またはAUX入力ソース・デバイスの音量を上げます。
スピーカーをWi-Fiネットワークに接続できない	スピーカーがWi-Fiルーターまたはアクセスポイントの範囲内にあるか確認します。距離が遠すぎる場合は位置を調整してください。あるいは、有線LANを利用してください。
ステレオ・ペアの一つのスピーカーしかオーディオ出力しない	両方のスピーカーがAC電源に接続されており、Wi-Fiネットワークの範囲内にあるか確認します。
AUX入力またはBluetoothソースがステレオ・ペアで機能していません。	AUX入力ケーブルを接続するか、Bluetoothを部屋のマスタースピーカーとペアリングします。もう1台のスピーカーは受け身で、マスタースピーカーが再生を行うとすぐに起動します。

問題	解決方法
家にスピーカーを最適に配置するためのガイドがありますか？	すべての家やアパートは異なっており、すべてに合ったガイドを提供するのは難しいでしょう。モバイルデバイスでWiFiネットワークスキャンを実行して、近くにアクセスポイントがいくつあるかを確認できます。次に、選択したWi-Fiチャンネルが使用中でないことか確認します。またHK Controller アプリケーションを使用して、家の各スピーカーがどれくらいのノイズを持っているかを確認できます。設定に入り、「フィードバックを送信」を選択して結果を確認します。-65dB以上はすべて良好な信号です。
Wi-Fiエクステンダ (拡張) を使用しているが、スピーカーの接続に問題があります。	Wi-Fiエクステンダ (拡張) が802.11n/ac 5GHzをサポートしているか確認し、その周波数だけを使用してWi-Fi通信範囲を拡張します。 必要なスピーカーをWi-Fiエクステンダーに追加してください。ほとんどのスピーカーをメインのWi-Fiに接続することをお勧めします。
OMNI 50+スピーカーの充電にはどのくらい時間がかかりますか？	OMNI 50+が完全に放電されている場合は、100%まで充電するのに3時間半～4時間かかります。
充電にUSBポートを使用している場合は、OMNI 50+のバッテリー残量が減りますか？	はい、充電用のUSBを使用すると、バッテリー電源が使用され、スピーカー再生のバッテリー時間が短縮されます。

システムのセットアップに助けが必要な場合は、www.harmanardon.com/omniにアクセスして、「セットアップ方法」ビデオをご覧ください。

FAQのセクションで詳細な知識を見つけることができます。



オープン・ソース宣言

この製品には、GPLの基で利用許諾されたオープン・ソース・ソフトウェアが含まれています。オープン・ソース・ソフトウェアのリストやその他の関連情報については、アプリ・ストアまたはGoogleプレイ・ストアで入手可能なHarman Kardon Controller アプリをダウンロードしてください。便宜のため、ソース・コードと関連ビルド命令は<http://www.harmankardon.com/opensource.html>でも入手できます。

お気軽にご連絡ください：

Harman Deutschland GmbH
ATT: オープン・ソース、Gregor Krapf-Gunther
Parkring 3
85748 Garching bei Munchen
Germany

本製品に含まれるオープン・ソース・ソフトウェアに関するその他のご質問は、電子メールでOpenSourceSupport@Harman.comに送ってください。

技術的仕様

- モデル名：HK OMNI 50+
- トランスデューサー：2 x 90mmウーファー、2 x 19mmツイーター
- 定格出力：4 x 25W
- 周波数特性：50Hz～20kHz -6dB
- 信号対雑音比：80dB以上
- 入力接続：Bluetooth、Aux入力、Wi-Fi
- 寸法（幅×奥行×高さ）：333mm X 175mm X 215mm
- 重量：3340g
- 電源：直流19V、3.0A
- スリープ・モードでの電力消費量：<3.0ワット
- Bluetoothトランスミッタの周波数帯域：2402～2480MHz
- Bluetoothトランスミッタの出力：<4dBm
- Bluetoothトランスミッタ変調：GFSK、 $\pi/4$ DQPSK、8DPSK
- 5G Wi-Fiトランスミッタの周波数帯域：5.15～5.35GHz、5.470～5.725GHz、5.725～5.825GHz
- 5G Wi-Fiトランスミッタの出力：<20dBm (EIRP)
- 5G Wi-Fi変調：OFDM、BPSK、QPSK、16QAM、64QAM、256QAM
- 5G Wi-Fiネットワークへの互換性：IEEE 802.11 n/ac
- 2.4G Wi-Fiトランスミッタの周波数帯域：2412～2472MHz (2.4GHz ISM 帯域、米国 11チャンネル、ヨーロッパとその他の地域 13チャンネル)
- 2.4G Wi-Fiトランスミッタの出力：<20dBm (EIRP)
- 2.4G Wi-Fi変調：OFDM、DSSS、DBPSK、DQPSK、CCK、16QAM、64QAM
- 2.4G Wi-Fiネットワークへの互換性：IEEE 802.11b/g/n



ハーマン・インターナショナル・インダストリーズ株式会社 (HARMAN International Industries, Incorporated)

米国、カリフォルニア91329、ノースリッジ、バルボア・大通り8500

www.harmanardon.com

© 2017 HARMAN International Industries, Incorporated(ハーマン・インターナショナル・インダストリーズ株式会社)。著作権所有。

Harman Kardonは、ハーマン・インターナショナル・インダストリーズ株式会社の、米国および/またはその他の国々の商標です。特徴、仕様、外観は、予告なしに変更されることがあります。



このマークは本製品がBLACKFIRE ALLIANCE基準を遵守していることを証明しています。詳細情報については、WWW.BLACKFIREALLIANCE.COMをご参照ください。BLACKFIRE RESEARCH™は、BLACKFIRE RESEARCH CORP.(ブラックファイア・リサーチ・コーポレーション)の登録商標(No. 3,898,359)です。著作権所有。



Bluetooth®のワードマークとロゴはBluetooth SIG, Inc.の所有する登録商標であり、ハーマン・インターナショナル・インダストリーズ株式会社によるこの商標のいかなる使用もその許可を得ています。他の商標と商品名はそれぞれの所有者のものです。



Wi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの認証マークです。



Wi-Fi Protected Setup Identifier MarkはWi-Fi Allianceの商標です。



harman/kardon[®]
by HARMAN